

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		高槻市立うの花療育園		公表日				2026年3月27日	
	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	23	6	1		・色々な場面でパーティションで区切る工夫をしている。 ・ホールやゆり、ひまわりの部屋を使い、人数が分散するようにしている。	・クールダウンするためのスペースがない点は、改善が必要。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	19	8	3		・配置は基準以上にしている。 ・園児の欠席が多いクラスから、他のクラスに応援に行く等、更に工夫している。	・個別対応が複数必要なクラスは職員の人数が足りないと感じる事がある。休みの職員が複数いるとヘルプで対応が難しいと感じる事がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	25	4	1		・構造化の取り組みをしている ・クラス運営での工夫や改善が見られる。 ・カムダウンできる場所は少ないが、使う工夫をしている。	・休憩スペースやワークスペースがなく手洗い場もパーティションを付けないと見えてるので、付ける必要がある ・建物や設備が古く、安全面で気になる部分がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	26	4			・園児が気持ちよく過ごせるよう、掃除や整理整頓にこころがけている。	・温度調整が難しい・個別空間が必要な子が多いが、療育室が狭く用意できてない現状がある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	20	5	5		・その日その日で確認しあって、医務室等使っていることがある。	・個別でいつでも使用できる部屋を確保するのは難しい。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	26	1	2	1	・多くの職員が参加する研修の機会を設けている。 ・日々の業務内で振り返りの時間を設けている。	・「限られた職員のみでの参画になっている気がする」と認識している場合があり、会議や研修での取り組みがPDCAを担っていることを周知していく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	29		1		・保護者からの意見に対し、分析し改善に向けての対応を行なう。また、必要に応じて会議も行なっている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	27	1	2		・準職員会議を開き、各部署からの意見の聞き取りをしている。全職員に個別のヒアリングを実施している。	・中には「意見を言う場はあるが反映されていない」という意見もあるので、意見への対策を行なったことを周知する工夫を今後も行なっていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	8	9		・第三者評価は受けていないが、職員内のアンケートや保護者からのアンケートにより、業務改善を行う。また、法人の評議委員会からの、評価・評議を受けており、業務改善に努めている。	・第三者ではないが、法人の評議委員会による評価を受けていることの周知をさらに行っていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	29		1		・療育現場向けの研修、法人の主任研修、階層別研修、新任研修、準職員研修等に参加している。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	30				・保護者の希望や同意を得ながら、進めている。	・ホームページにて公表している。	

適切な支援の提供	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	29	1		・支援計画の形式が今年から変わり、保護者に対しより分かりやすくなったと感じる。 ・クラス担任、個別のセッション担当で話し合いをしながら、保護者の意向にそよう進めている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	28	2		・毎月クラス会議で話し合い、決まったことは共有している。 ・クラス担任、個別のセッション担当で話し合いをしながら、保護者の意向にそよう進めている。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	25	4	1	・クラス会議や日々の意見交換など行なっている。	・就業時間が様々であるが故の課題ではあるが、療育を進めるにあたり、職員間で共有するための方法の検討が必要である。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	26	3	1	・発達検査が主なツールであるが、心理言語部署で作成した行動評価ツールを用いた評価を、部署内で試行期間中である。 ・発達検査など、アセスメントに使える材料がある。	・発達検査による客観的な指標を含めて確認している。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	28	2		・設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	25	4	1	・主担任(正職)が考えている。 ・主にクラスで話し合っている。	・主担任やクラス担任で話し合いながら立案している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	27	3		・毎月クラス会議で話し合いをしている。 ・経験不足を補ったり、経験の積み重ねで幅を広げていったりできるように考えている ・子ども達の成長や興味に合わせて活動内容を考えている。 ・毎月の療育計画を保護者にお知らせにして配信することで、確認することができている。	・今後とも園児が様々な体験ができるよう、内容を検討していく。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	26	3	1	・個別活動(個別支援)は個別セッションで対応している。 ・クラス活動と個別セッションがある。	・集団活動と個別活動を組み合わせた計画を作成している。個別活動の計画も作成している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	18	10	2	就業時間の違いにより難しさはあるため、支援開始前の打ち合わせの他、紙面での確認や声掛けなど共有できるように努めている。すぐに共有が必要なことは、療育時間にも伝え合うようにしている。	就業時間の違いなどによる課題はあるが、様々な手法を用いて引き続き共有には努めていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	12	3	・就業時間の違いにより当日の共有は難しいこともあるが、直後の声を掛けあう、気付いた時、クラス会議に共有するように努めている。	就業時間の違いなどによる課題はあるが、様々な手法を用いて引き続き共有には努めていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	25	4	1	・ICTシステム(コドモン)の活用を始め、その内容をもとにクラス会議などで確認している。	・毎日の記録が義務ではあるため、認識のズレを修正する必要がある。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	28	2		・6か月に1度を基本に、必要時に見直しを行っている。	

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	29		1	・クラス担任が対応している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	28		2	・必要に応じて、各機関とやりとりしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	28		2	・進路先への引き継ぎを丁寧に実施している。	・引継ぎ実施とその内容をもっと周知していく必要がある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	30			・進路先への引き継ぎを丁寧に実施している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	27		3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	27	1	2	・地域間との交流保育を実施。	・今年度まで交流していた公立幼稚園が閉園になり、次年度からの交流圏は未定。検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	29		1	・コドモンや電話で話したり、遊ぼう会などを実施し共通理解に繋げている。	・限られた時間の中で、お子さんの様子を保護者にわかりやすく伝える方法を今後も検討していきたい。
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	30			・ペアトレと、ペアプロを行っている	・より参加しやすいように、説明会を動画配信等、取り組んでいく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	29		1	・新入園児説明会や、継続児説明会を開いて説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	30				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	29		1		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	29		1		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	28		2	・親の会がある。 ・行事は、きょうだい児も参加できるプログラムを企画している。 ・親の会活動を支援し、保護者同士の交流の機会も設けている。	・保護者同士はあるが、きょうだい児の交流は十分とは言えない。引き続き検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	30				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	30				

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	30					
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	30					
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25	1	4		・在園児、卒園児、就園児を招待する園主催のおまつりがある。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	30					
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	28		2		業務継続計画について、よく知らないとの意見もいただき、引き続き園内での周知が必要である。	・業務継続計画を策定し、避難訓練は毎月行ない、感染症対策訓練は年2回行なっている。業務継続計画との連動性についての認識が薄いため、今後とも周知していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	30					
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	29		1			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	28		2		様々な研修会を通じて、安全管理が行なわれていることを、職員間で共有する。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	26		4			どのようにご家庭へ取り組みを周知しているか、職員間で共有する機会を設ける。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	29		1		連絡会や記入ファイルにて職員間で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	30				年間計画で、全職員を対象に、虐待研修を行なっている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	24	2	4		重要事項説明書での記載はしている。	記載に関しては、研修会を通じて職員間で共有する。